



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社プラザクリエイイト本社
 コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 黒部 一仁

TEL 03-3532-8812

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	17,315	2.8	54	73.4	104	55.5	60	49.8
2019年3月期第3四半期	16,842	2.7	204	55.6	234	60.3	119	4.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 71百万円 (38.2%) 2019年3月期第3四半期 115百万円 (3.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	4.68	
2019年3月期第3四半期	9.31	9.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	14,932	2,279	15.3	177.79
2019年3月期	13,392	2,297	17.2	179.22

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,279百万円 2019年3月期 2,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		7.00	7.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想の修正の有無: 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	1.1	250	5.4	250	0.0	150	76.0	11.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	13,836,258 株	2019年3月期	13,836,258 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,016,701 株	2019年3月期	1,016,701 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	12,819,557 株	2019年3月期3Q	12,836,153 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、モバイル事業におきましては、モバイル端末の販売方法をめぐる法規制などにより、通信料金と端末代金の完全分離や料金プランの変更など外部環境の大きな変化に加え、昨年10月の消費増税などにより市況は厳しさを増す環境となりました。この状況の下、引き続き出店を推し進め、店舗数拡大に伴う販売台数の積み上げや、スマートフォン関連商材の提供など、お客様一人当たりの販売単価の上昇ならびに業務の効率化の取組みなどが奏功し、業績は順調に推移いたしました。

また、出店数に対応する人員確保、ならびに、質の高いサービスを継続し提供できるよう、教育研修および採用活動を強化すると共に、第2四半期連結累計期間より、法人営業部門を増員し、法人顧客の開拓強化にも取り組んでまいりました。

プリント事業におきましては、引き続き店舗の運営形態を直営店舗からフランチャイズ店舗への転換を推し進め、当第3四半期連結累計期間末にはフランチャイズ店舗182店、直営店舗159店となりました。直営店舗の小売事業とフランチャイズ店舗への卸売事業という異なる利益率の事業が併存するなか、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、期初計画通り前同期と比較し大きく乖離いたしました。フランチャイズ店舗の増加を業態転換の一通過点として捉え、人材や資金などのリソースの最適な配分や、抜本的なコスト構造を慎重に見直しを実施した結果によるものであり、業績は計画を上回る実績を遂げ、堅調に推移いたしました。

このようなチェーン店構成のもと、第3四半期最大の商機である年賀状プリントにおいては、喪中はがき印刷の受注、店頭での印刷済パック販売、ならびに宛名印刷等のオプションサービスは前年以上の実績を確保したものの、当社チェーン店を補完するWeb年賀受付サービスが競合他社からの猛追を受けた他、消費税増税により2年連続して年賀はがきの値上げなども起因し、Web年賀受付サービスを含み当社チェーン店全体の販売枚数は、2,569万枚（既存店前年同期比2.1%減、Web年賀受付サービス前年同期比22.8%減）となりました。

一方で、ハンドメイドをだれでも楽しめる『つくるんです®』は、クリスマス需要などの後押しもあり、2018年秋からの展開以来、シリーズ合計出荷数が、25万個を突破し、引き続き好調に推移いたしました。今後も『つくるんです®』ブランドを新たな当社の収益の柱とすべく、ブランディング及び製品開発をさらに強化してまいります。

また、当社の保有するデジタルプリント工場の強みを生かし、SHOWROOM株式会社様が運営する仮想ライブ空間「SHOWROOM」における、バーチャルタレント輩出プロジェクト「Avatar 2.0 Project」の一周年記念グッズ製作を、同社との協業を開始するなど、法人向けアライアンス拡充も当社の重点テーマとして取り組み、“小売業”から“企画会社”への業態転換を名実ともに推し進めて参ります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、173億15百万円（前年同期比2.8%増）となり、営業利益54百万円（前年同期比73.4%減）、経常利益1億4百万円（前年同期比55.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益60百万円（前年同期比49.8%減）となりました。

セグメント別では、プリント事業は、売上高55億2百万円（前年同期比10.2%減）、上述のとおり業態転換の通過点にあるため、セグメント損益は1億68百万円の損失（前年同期：17百万円の損失）となりました。

モバイル事業は、売上高118億12百万円（前年同期比10.3%増）、セグメント利益は2億50百万円（前年同期比28.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産の額は、149億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億40百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が14億38百万円、流動資産その他が5億84百万円増加し、受取手形及び売掛金が2億45百万円、固定資産が2億17百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債の額は、126億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億58百万円の増加となりました。主な要因は、短期借入金が15億31百万円、長期借入金が6億45百万円増加し、リース債務(流動)が66百万円、リース債務が2億43百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の額は、22億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益60百万円、配当金の支払額89百万円などにより利益剰余金が29百万円減少したことなどによるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の17.2%から15.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期連結業績予想につきましては、2019年5月14日公表の業績予想に変更はございません。今後、何らかの変化が生じた場合は、適時適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,153,745	2,592,618
受取手形及び売掛金	2,179,030	1,933,083
商品及び製品	1,807,747	1,783,766
原材料及び貯蔵品	146,284	151,385
その他	1,230,873	1,814,987
流動資産合計	6,517,681	8,275,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,486,294	2,612,704
減価償却累計額	△993,224	△1,031,968
建物及び構築物(純額)	1,493,070	1,580,735
機械装置及び運搬具	2,158,757	2,045,643
減価償却累計額	△2,027,000	△1,914,407
機械装置及び運搬具(純額)	131,756	131,236
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	2,013,334	2,016,245
減価償却累計額	△977,005	△1,245,097
リース資産(純額)	1,036,329	771,148
その他	999,860	1,016,463
減価償却累計額	△728,771	△732,539
その他(純額)	271,089	283,924
有形固定資産合計	4,443,495	4,278,294
無形固定資産		
のれん	71,091	64,636
リース資産	191,380	177,555
その他	219,585	208,486
無形固定資産合計	482,057	450,678
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,655,796	1,640,368
その他	305,684	299,792
貸倒引当金	△12,289	△12,289
投資その他の資産合計	1,949,191	1,927,871
固定資産合計	6,874,743	6,656,844
資産合計	13,392,425	14,932,685

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,858,296	1,627,175
短期借入金	3,561,635	5,093,128
リース債務	488,758	422,710
未払法人税等	12,773	9,579
賞与引当金	123,281	64,333
その他	1,297,565	1,285,131
流動負債合計	7,342,310	8,502,058
固定負債		
長期借入金	2,196,762	2,841,767
リース債務	966,397	723,354
資産除去債務	208,017	210,706
退職給付に係る負債	96,534	88,145
長期預り保証金	238,696	230,401
その他	46,194	57,065
固定負債合計	3,752,602	4,151,440
負債合計	11,094,912	12,653,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,228,496	1,228,496
利益剰余金	1,290,226	1,260,517
自己株式	△322,509	△322,509
株主資本合計	2,296,213	2,266,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,299	12,682
その他の包括利益累計額合計	1,299	12,682
純資産合計	2,297,512	2,279,186
負債純資産合計	13,392,425	14,932,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	16,842,544	17,315,389
売上原価	10,550,953	11,128,028
売上総利益	6,291,591	6,187,361
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	882,861	866,995
給料手当及び賞与	1,621,442	1,685,185
賞与引当金繰入額	60,301	63,947
雑給	819,089	640,100
賃借料	950,581	863,313
のれん償却額	35,055	36,703
その他	1,717,790	1,976,662
販売費及び一般管理費合計	6,087,121	6,132,908
営業利益	204,470	54,452
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,987	1,518
協賛金収入	48,528	32,836
償却債権取立益	5,500	11,400
その他	32,036	64,165
営業外収益合計	88,052	109,921
営業外費用		
支払利息	53,192	55,990
その他	4,661	4,046
営業外費用合計	57,853	60,037
経常利益	234,668	104,336
特別利益		
固定資産売却益	14,055	3,487
受取補償金	—	34,000
保険差益	—	19,047
特別利益合計	14,055	56,535
特別損失		
減損損失	102,153	63,133
店舗閉鎖損失	5,468	26,301
違約金	15,000	—
特別損失合計	122,621	89,435
税金等調整前四半期純利益	126,102	71,437
法人税、住民税及び事業税	9,915	9,579
法人税等調整額	△3,341	1,829
法人税等合計	6,573	11,408
四半期純利益	119,528	60,028
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,528	60,028

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	119,528	60,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,970	11,382
その他の包括利益合計	△3,970	11,382
四半期包括利益	115,558	71,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	115,558	71,411
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,128,124	10,714,420	16,842,544	—	16,842,544
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,128,124	10,714,420	16,842,544	—	16,842,544
セグメント利益又は損 失(△)	△17,525	195,613	178,087	26,382	204,470

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額26,382千円には、セグメント間取引消去額700千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△273,117千円及び当社とセグメントとの内部取引消去298,800千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、前第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において65,097千円、「モバイル事業」において37,056千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,502,479	11,812,910	17,315,389	—	17,315,389
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,502,479	11,812,910	17,315,389	—	17,315,389
セグメント利益又は損 失(△)	△168,121	250,522	82,401	△27,948	54,452

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額27,948千円には、セグメント間取引消去額2,018千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△258,386千円及び当社とセグメントとの内部取引消去228,420千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、営業損失が継続してマイナス等である店舗を対象に帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「プリント事業」において57,731千円、「モバイル事業」において5,401千円であります。